

北海道肉牛研究会 ニュース

No.19 2014.9.16

北海道肉牛研究会事務局
北海道立総合研究機構畜産試験場
肉牛グループ・技術支援グループ
〒081-0038
北海道上川郡新得町字新得西5線39番地
Tel:0156-64-0610 FAX:0156-64-3212

第16回北海道総合畜産共進会（肉用牛部門）が開催

第16回北海道総合畜産共進会（肉用牛部門）が、9月6日（土）・7日（日）に十勝農協連家畜共進会場で行われました。全道から選抜された黒毛和種雌牛のべ143頭（単出品108頭、群出品35頭）が、10部門に分かれ体型や資質を競いました。最高位を受賞したのは、未經産牛では「みつしげ」（平取町 佐々木幸徳氏）、経産牛では「はなひら」（音更町 曾我部裕氏）、群出品では「ゆりあん・ゆりかつじ・しげかねやす」（平取町 楠木一史氏・賀集昭知氏）でした。各部門の1等1席は以下のとおりです。

部門	名号	父	JA名	出品者	
第1部	（未經産 10～13 カ月齢未満）	かつはな	勝忠平	平取町 佐藤 貢 氏	
第2部	（未經産 10～15 カ月齢未満）	かつはや	勝早桜5	今金町 野田定雄 氏	
第3部	（未經産 13～15 カ月齢未満）	みつしげ	美津照重	平取町 佐々木幸徳 氏	
第4部	（未經産 15～18 カ月齢未満）	ただかめ	勝忠平	平取町 笠山一夫 氏	
第5部	（未經産 18～24 カ月齢未満）	くれあ	安福久	十勝池田町 (有)大塚牧場	
第6部	（経産 48 カ月齢未満）	ひらやすやす	安福勝	音更町 葛巻信也 氏	
第7部	（経産 48 カ月齢以上）	はなひら	勝忠平	音更町 曾我部裕 氏	
第8部	（父系群 10 カ月齢以上）	ゆりあん	百合茂	平取町	楠木一史 氏
		ゆりかつじ			賀集昭知 氏
		しげかねやす			楠木一史 氏
第9部	（母系群 10 カ月齢以上）	なかやす	安茂勝	幕別町	山田貴赦 氏
		なかこ	美津福		
第10部	（改良組合・農協繁殖群）	たけじ	安福久	幕別町	斉藤雅登 氏
		ひとみ	北平安		山田貴赦 氏
		かじひらてる	平茂勝		山田貴赦 氏

会費納入のお願い!!

2014年度年会費（個人会員 2000円）の納入をお願いします。

2013年度以前の会費を未納の方は至急納入して下さい（同封請求書を参照のこと）。

研究会は会員の皆さんからの会費で運営されていますので、忘れずに納入をお願いします。

*勤務先・住所等が変更になった場合は事務局までお知らせ下さい。

*退会の際には必ず事務局までご連絡下さい。

畜産試験場で実施した研究紹介

北海道産稲わらの嗜好性変動要因について

北海道産の稲わらは、中国産に比べて価格が高いことに加えて品質（嗜好性）が不安定なため、利用が進んでいません。そこで、北海道産の稲わらの嗜好性に影響を及ぼす要因について検討しましたので、ご紹介します。

牛の嗜好性は、繊維の質に影響を受けると言われており、汎用コンバインで収穫された稲わらは自脱コンバインで収穫された稲わらに比べて繊維がくずれて嗜好性が悪いのでは？と懸念されています。しかしながら、今回の調査では繊維の質よりも粗灰分含量の影響を強く受けているという結果が出ました（表）。この要因として、本試験で供した稲わらでは土砂の混入（写真）により粗灰分含量が変動しており、そのことが稲わらの嗜好性に影響を及ぼしていたものと考えられました。

北海道産稲わらの品質向上には収穫時の土砂混入の低減が重要であるとともに、稲の品種や栽培・収穫条件と嗜好性との関連についても詳細な検討が必要であると考えられます。

各稲わらの成分値と選択日数との相関

	%DM				
	OCW	Oa	Ob	ADL	CA
稲わら1	68.5	4.6	63.9	2.7	13.3
稲わら2	73.1	5.0	68.1	3.1	14.8
稲わら3	70.9	7.8	63.1	3.2	16.5
選択日数との相関	-0.80	-0.73	-0.22	-1.00	-0.92

DM；乾物、OCW；総繊維、Oa；高消化性繊維、Ob；低消化性繊維、ADL；リグニン、CA；粗灰分



稲わらロールに混入した土砂の塊

2014年 道内肉牛関連行事予定

ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会	10月 4日（土）	帯広市・畜産公社
北海道枝肉共励会 （乳用雄肥育牛および交雑牛の部）	10月 11日（土）	帯広市・畜産公社
北海道肉専用種枝肉共励会 （アンガス・日本短角）	10月 17日（金）	帯広市・畜産公社
資源循環型牛肉生産シンポジウム	10月 17日（金）	帯広市・とかちプラザ
北海道肉牛研究会大会	10月 30（木） - 31日（金）	富良野市・ 富良野文化会館
北海道あか牛枝肉共励会	11月 20日（木）	帯広市・畜産公社
北海道枝肉共励会（黒毛和牛の部）	11月 29日（土）	帯広市・畜産公社

「勝早桜5」産子 子牛市場で好調な出足

今年の春から、北海道推奨種雄牛「勝早桜5」産子の道内市場への上場が始まりました。上場された産子はとても発育が良く、出荷日齢は、他の父牛産子よりも20日ほど早い傾向にありました(表)。

表 道内子牛市場(H26.5月~8月)に出荷された「勝早桜5」産子の成績

性	父牛	頭数	日齢(日)	体重(kg)	日齢体重(kg/日)	300kgに到達する日齢(日)
去勢	勝早桜5	125	267.5	318.3	1.19	252
	その他	8,280	286.6	315.7	1.10	272
めす	勝早桜5	73	277.5	304.4	1.10	274
	その他	6,117	303.5	295.1	0.97	309

畜産試験場では、十勝市場に上場された「勝早桜5」産子(去勢33頭、めす15頭)の体測を行いました。

「勝早桜5」産子は総じて発育が良く、正常発育曲線(全和、2004)の下限値を下回る牛はいませんでした。特に去勢では、体高・体重ともに上限値を上回る牛が多く見られました(図)。

あえて難点をあげると、めすにおいて、体重に比べて体高がやや不足気味の牛が多いようでした。

今後も「勝早桜5」産子の体測を行い、その特徴を調査していく予定です

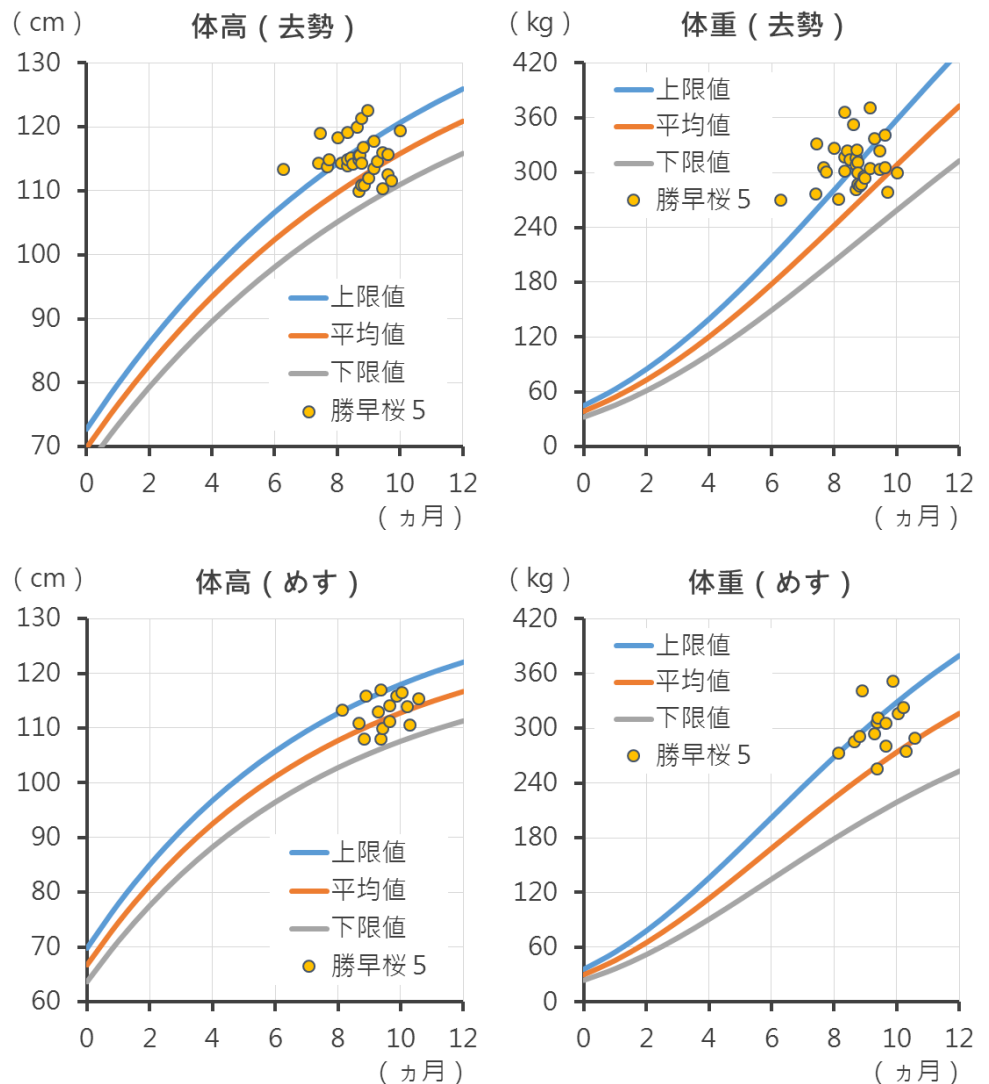


図 道内子牛市場(H26.5月~8月)に出荷された「勝早桜5」産子の体高および体重

「勝早桜5」産子 枝肉成績良好

畜産試験場では、牧草サイレージで育成した素牛を乾草・麦稈と濃厚飼料多給による肥育と、乾草で育成した素牛をとうもろこしサイレージと飼料用米による肥育の2つの試験を行い、今年の5～6月に肥育牛を出荷しました。各試験で使った牛の中には「勝早桜5」の産子が16頭いて、枝肉成績の平均値は、枝肉重量が503kg、ロース芯面積が65cm、上物率が87.5%と好成績を示しましたので紹介します。

父	頭数	出荷月齢	出荷体重	枝肉重量	胸最長筋面積	ばら厚	皮下脂肪厚	歩留り	BMS	BCS	BFS	上物率
勝早桜5	16	27.8	801	503	65.1	8.5	2.9	74.7	6.5	3.9	3.1	87.5



牧草サイレージ育成牛

勝早桜5×茂弘桜×北安茂
 枝肉重量：587kg
 胸最長筋面積：64cm²
 ばら厚：8.7cm
 皮下脂肪厚：3.5cm
 BMS：7
 BFS：3
 等級：A4



とうもろこしサイレージと飼料用米肥育牛

勝早桜5×安福6の3×藤桜
 枝肉重量：548kg
 胸最長筋面積：73cm²
 ばら厚：8.8cm
 皮下脂肪厚：2.7cm
 BMS：8
 BFS：3
 等級：A4

(写真提供 帯広畜産大学口田研究室)